

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年9月2日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100047
法人名	有限会社 ピースアンドハーモニー
事業所名	グループホーム ローズタウン (2F ヴィオラ)
所在地	鹿児島市下荒田二丁目1-16 (電話) 099-284-1582
自己評価作成日	平成23年9月2日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年9月29日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設して6年目に入り、利用者の方も重度化してきている。スタッフもそのような重度化の利用者に対応する様、介護技術の向上の為、事業所内外で研修を行い、実践に活かす様に努めていると思う。又、地域の方に認知症を正しく、又、より深く理解して頂く様に、施設の持っている情報を積極的に発信していると思う。さらに、事業所がケアにあたって、いつも心掛けているのは「予防」と「チームケア」である。「予防」は病状の進行や、認知症の悪化を防ぐ意味があり、「チームケア」は、スタッフ一人一人のストレス軽減を目的としている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることをサポートする事を目的とし、事業所のスタッフで作った。施設内に掲示したり、時にふれスタッフで唱和している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の行事等に参加している。月2回地域の清掃をスタッフで行っている。地域の方もボランティアとして、ひな人形作りや、音楽慰問等に来てもらったりしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症をより深く正しく理解して欲しいとの思いで、地域の方と一緒に勉強会や各種会合で認知症に関する話をさせてもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価の結果や苦情、事故等も報告し意見や提案を頂く様になっている。またスタッフの日頃の頑張りや苦悩も伝えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	介護相談員の受け入れや介護保険に関する諸相談等を行い、随時アドバイスをもらう様になっている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関はオートロックになっているが、街中の施設と言う事で、利用者や家族は「安心」と理解してもらっている。身体拘束はしないことを基本とし、拘束による弊害をスタッフは、勉強会などで取り上げ理解している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については勉強会等で理解を深める様になっている。虐待に到るスタッフの認知症理解不足やストレスにならない様に配慮している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	実際に制度を利用している方はいないが、勉強会などで制度について話している。当施設としては、入所時に身元保証人を4名立ててもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>具体的事例や解り易い言葉を用いて説明している。不安や希望なども聞く様にしている。後で「聞いてません」という事が無い様にしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時に「何かありませんか？」と必ずこちらから聞く様にしている。家族会の開催やアンケートの実施、又、玄関には意見箱も設置している。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員が集まる会議等にて意見を出してもらい、代表者や管理者は運営に反映する様にしている。又、職員が意見等が自由に出せる雰囲気作りに努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は職員の努力や実績を積極的に把握する様に努め、さらに報われるように待遇を含め環境整備に努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、研修の意義をよく理解しており、法人外の研修には、積極的に参加する様すすめたり、法人内の研修には、必ず、自らも参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者は、当グループホームが市内の連絡会に加入し、そこで同業者との交流を行うことに理解が有り、サービスの向上に寄与している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用を開始する前には、必ず本人に面会し、本人の状態や本人の抱えている不安や希望を出来るだけ把握する様に努めている。サービス利用を開始しても繰り返し、不安や困った事を聞く様にしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始前に、必ず面談する。本人とは違う希望や不安も受け入れる様にしている。当施設として、「出来る事」「出来ないこと」もしっかり伝える様にして、誤解が無い様にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当施設で出来る範囲内に於いて、必要な支援を順次行っている。他のサービス利用が必要な場合は対応を検討したりしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「介護する人」「介護される人」では共に「楽しい」「悲しい」「嬉しい」等を共有出来る様に努めている。スタッフは日によって「子供」「嫁」「生徒」「同級生」「近所の人」になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会等で、家族と施設で本人を共に支えてゆく事を確認している。又、本人にとって家族の力の重要性についても話をし、理解を深めてもらっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅で住んでいた時の御近所さんや、自分の信仰している宗教関係の方の定期的な訪問があったり、昔努めていた職場等を見に行ったりしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフは出来るだけ利用者と過ごす様努めている。利用者同志の関係等を考慮している。スタッフが間に入り、トラブル予防や孤立化を防いでいると思う。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了については、必要に応じて、その後の適切な医療や福祉機関を紹介している。又、終了後の本人や家族の様子を時にふれ、聞く様にしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で、一人ひとりの希望を把握する様に努めている。意志伝達が難しい方は顔の表情等から理解する様にしている。各スタッフが把握した利用者の希望等はスタッフ全員が共有するように心掛けている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から聞き取りを行い、これまでの経過等を把握する様に努めている。ただプライバシーに触れる事も有るので、慎重にする部分も有る。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフが出来るだけ気付きを積み上げる様にしている。本人の持っている力などを考慮している。疾病については病院との連携を深め、把握する様にしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	出来るだけ利用者本人の言葉でケアプランの要望は書いている。本人にとっての一番の希望を反映出来る様にしている。又、利用者に関わる、家族やスタッフの意見・要望も取り入れる様にしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は、事務的、画一的にならない様、利用者の発した言葉なども記入している。スタッフがそれぞれ得た情報は、カンファレンス等で出してもらい、評価を行い、介護計画の見直しへ継いでいる。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族が多忙な時は、諸手続等を代行する事が有る。本人の希望が有れば、自宅や墓参り、買い物等を行う。身体状況の変化が生じた場合は、それぞれ必要に応じ、専門医受診等を行う。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安全に暮せる様に地域の消防署や警察等と連携している。又、民生委員や地域の方を含め、ボランティアなどに来てもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族や本人が納得した主治医が居る。主治医は必要に応じ、家族にも定期的に疾病について説明している。疾病内容により、主治医は、他の専門医を紹介している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>病院側、施設側、それぞれ窓口となる担当職員を作り、一本化する事で、利用者の体調の変化、服薬の状況等、主治医への確実な情報を伝えやすくすると共に指示も受け易い様にしている。定期的な往診、検査、実施して頂いている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中も主治医や病棟の看護師と連絡をとりあい、相談し、一日でも早く退院できる様に努めている。またスタッフも交替で面会に行く事で、ご本人に安心して頂ける様に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に事業所の指針を説明し同意書をもらっている。御家族を交えて話し合い、主治医と連携し、ギリギリまで支援していく方針を全スタッフが共有し、行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>実技を備え、定期的に研修を行うと共に業務引き継ぎ時やカンファレンスを通して、スタッフ全員で個々の状態を把握し、事故防止に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練は年2回実施しており、そのうち1回は地域住民の方にも参加して頂いている。消火器の使い方や、避難誘導の訓練や消防設備の点検も実施している。非常用の食糧、飲料水も備蓄している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入職時に個人情報の確保について説明し、納得して頂いた上で誓約書を提出して頂いている。会議等で個人を尊重したケアの在り方について話し合う事で、日頃から利用者に対して、インシヤルを使ったり、更衣整容は居室で行うなどの配慮した声かけや対応をしている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日頃の話の中より本人の希望を聞き出したり、感じ取った上で本人が選べるような声かけを行うようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大きなスケジュールは決まっているが、過し方については、できるだけ希望に沿える様、工夫している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>毎朝整容を行っている。着たい服を選んで頂いたり、化粧を希望される方には、化粧から化粧落としまでのケアを行い、外へ美容室へ行かれたりする方もいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の希望を聞いた り、食材購入も一緒に行っている。食事の準備から後片付けまで利用者と職員が協力しあいながら行っている。職員と利用者が同じテーブルを囲み、楽しく食事が出来るように支援している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量（主食・副食）、水分量の 摂取した量と時刻が解る様に 記録している。御本人が食べら れない物への配慮も含め、希望 を取り入れ、季節を感じる献立 を心掛けている。また食欲のな い時は本人の食べたい物を捕食 として行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行ってい る。入れ歯は毎日睡眠中に外し て頂き、洗浄液に漬け、清潔に 保つ様になっている。口臭や舌苔 がある場合には専用のブラシを 家族に購入して頂いた上で全ス タッフで情報を共有し、すぐに 対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者一人一人の排泄パターンを把握し、排泄チェック表を作成し、支援の方法についてはカンファレンスを通して、出来るだけオムツを使用せずに、自立して行ける様に話し合い、それを実行している。また排泄後はお茶を使った温水にて陰洗を行い、清潔を心掛けている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自力で排泄を促せる様に、日々の食事に食物繊維、ヨーグルトや牛乳を取り入れたり、運動や補水についても工夫している。排便のない時は、マッサージ・ホットパック等を使用し、働きかけ、それでも排便の見られない時は主治医と相談しながら下剤の服用を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週に3回の計画があるが、時間については、利用者の希望を尊重するようにしている。一人一人がくつろいだ気分で入浴出来るように、話をしながら個別の入浴支援を行っている。支援の方法については、カンファレンスで話し合い、全スタッフが情報を共有し、実行しており、希望があれば近くの温泉へ行っている。普段出来ないコミュニケーションの場とすると共に、身体観察の場となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>入浴後、食後等、疲れや眠気の見られる方には自室へと案内し、休んで頂いている。空調を整えて、気持ち良く眠れる様に心掛けている。また、自室にて休まれたくない方にはリビングのソファ等を使って頂いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者やご家族が薬を尋ねられた時には説明出来る様に、全スタッフが情報を共有するように心掛けている。また、チェック表や、専用の薬箱を作成し、飲み忘れや誤薬を防ぐ為にも必ず確認を行っている。症状の変化が現れた時には、すぐに主治医と連携をとって対応している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>生活の中で家事や炊事を分担し、得意な事や出来る事を自発的にして頂く様に声かけしている。好きな本やテレビ、新聞を御覧になっている時や、ご本人の楽しみ事をされている時には、そちらを優先して頂いている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>室内で一日中過して頂く事がない様に、日常的に近くの神社への散歩やスーパーマーケットへの買い物などを行っている。地域の行事はもとより、季節感のある行事を計画し、参加して頂けるように支援を行っている。また、本人の希望に沿い、お墓参り、外食、温泉等、ご家族と相談しながら外出している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金は所持して頂いていないが、必要な物、欲しい物は、自ら選んで頂ける様な支援を行っており、購入する喜びを持ってもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望により、本人自ら、ご家族へ電話したり、贈り物が届いた時等には、必ずご本人に電話で話をして頂いている。葉書を自ら書いて出される方もおられる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には、毎月季節感を感じる事が出来る様な飾りを、利用者と共に作り、広いリビングには、花や写真を飾っている。和室には仏壇も設置しており、利用者自らが、花やお茶、ご飯等を挙げられている。ベランダには、季節の花や野菜を一緒に栽培し、収穫している。また、リビング等の目に映る場所に飾る事で、利用者が季節を感じとれる様にしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関や台所の近く等に一人用の椅子を置き、リビングにはソファを置いている。リビング内では、自由に過せるように配慮しており、和室を利用されている方もおられる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が使い慣れた家具や置物、ご供養の為の品々や、ご家族との思い出の写真等が飾ってある。また、ご家族が持って来られる花を飾ったり、穏やかに、安心して暮らせるように配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や居室、トイレに手すりを設置し自力で移動し易いようにし、家事等も、個々の力に応じてされている。常にスタッフが見守り、不安や心配、事故の無い様に、声かけ、介助を行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない